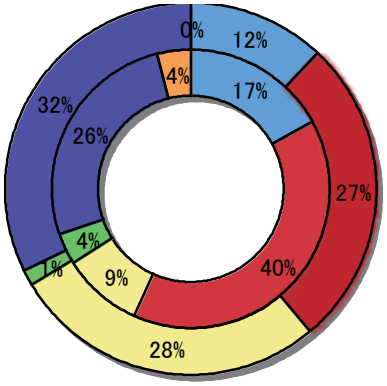
「労働生活実態調査」「署名」

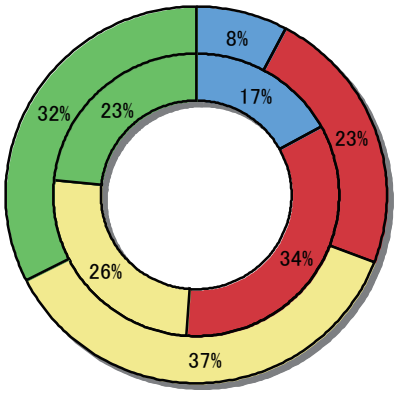
ご協力ありがとうございました

署名は 500 筆目前、アンケートも 270 名程に



問10(2)担当業務の内容。外円:短時間167名、内円:契約53名

■正規職員と同じ業務　■正規職員とある程度同じ
■正規職員の補助のみ　■正規職員以上の業務
■比較できる正規なし　■その他(重複回答)



問10(3)業務に求められている専門性。外円:短時間139名、内円:契約47名

■正規より高い　■正規と同じくらい
■正規より低い　■比較できる正規無し

非正規職員労働生活実態調査の結果から抜粋。非正規職員の業務内容の現状が、必ずしも臨時的、補助的な業務に限らない実態が浮き彫りになっている。

皆様から寄せられた労働生活実態調査(アンケート)は、現在、約 270 名分にのぼっています。アンケート結果からは、正規職員と同様の仕事に就いている実態、そもそも比較できる正規職員が配置されていない中で働いている実態、求められている専門性などについての実態が浮き彫りになってきました。また、自由回答欄からは、厳しい生活実態や、不合理な雇用期限の撤廃、均等待遇を求める切実な声が多数寄せられました。

現在、一時集計を終了し、結果のとりまとめと公開の準備を進めています。今後、組合ホームページをご覧ください。

佐賀大・信州大等で期限撤廃

全国の国立大学において、非正規職員の雇い止めが発生している問題が新聞報道等でも取り上げられています。各大学の教職員組合でも、署名や団体交渉を実施、少しずつですが、雇用期限の撤廃が決定した大学が出てきました。北大職組では、全大教（全国大学高専教職員組合）を通じて情報交換を行い、こうした他大学での運動や実情を学びながら、北大における運動へ活かしていこうと努めています。

京大ではストも

京都大学では、時間雇用職員組合の非正規職員 2 名がストを実施。大学側に雇用期限撤廃（京大は 5 年）を求めて運動しています。

北海道大学教職員組合

http://ha4.seikyou.ne.jp/home/kumiai
E-mail: kumiai@ma4.seikyou.ne.jp

あなたの加入が力になります。
教職員組合へ加入しましょう。

北大の非正規職員問題特集１　2009 年 4 月 1 日